

# 明治・大正レトロ文化発信拠点における販売商品の開発及び店内造作業務委託 仕様書

## 1 目的

石川県の「兼六園周辺文化の森」は、各時代の歴史的建造物や文化施設が重層的に集積する全国有数のエリアであり、明治期の建物を活用した国立工芸館の移転・開館以来、特に明治・大正期のレトロな雰囲気を楽しむ観光への人気が高まっている。

そこで、石川四高記念文化交流館内に「レトロ衣装体験室」を整備し、屋内外にフォトスポットを設けて、衣装体験や写真撮影を楽しめるようにするほか、館の入り口付近にある旧門衛所を改修し、明治・大正期の生活や文化に関連した「オリジナルグッズの販売ショップ」として整備する。

## 2 計画のコンセプト

- (1) 四高の時代である明治・大正期の雰囲気を感じられるグッズの開発
- (2) 来館者が入りやすく、懐かしさを感じられる空間の創出

## 3 施設の概要

### (1) 建物名称

石川四高記念文化交流館及び旧門衛所

### (2) 所在地

金沢市広坂 2-2-5

### (3) 整備面積

石川四高記念文化交流館

「レトロ体験室」：約 66 m<sup>2</sup> (左)

旧門衛所：約 23 m<sup>2</sup> (右)

合計：約 89 m<sup>2</sup>



### (4) 建物管理者

石川県県民文化スポーツ部文化振興課及び石川県土木部公園緑地課

(所有者：北陸財務局)

※県に無償貸付された国有財産であるため、営利目的や利益を上げる行為は不可。

### (5) 特色

石川近代文学館：本県ゆかりの文学者の著書や原稿等を展示する文学館

明治から昭和にかけて活躍した泉鏡花・徳田秋聲・室生犀星の  
三文豪から現代の文学者まで幅広く展示

石川四高記念館：明治26年から約60年間の旧第四高等学校として使用された  
歴史と四高生を育んだ風土と時代を知るための展示をする記念館

## (6) 沿革

- 明治24年 本館建築  
明治26年 門衛所建築 ※現在も建築当時の外観を留めている歴史的建造物  
昭和25年 四高閉校  
金沢大学理学部として使用（本館）  
金沢大学理学部守衛室として使用（門衛所）  
昭和39年 金沢大学理学部が金沢城内に移転  
金沢地方裁判所の仮庁舎として使用（本館）  
昭和41年 金沢地方裁判所が移転  
昭和43年 石川県立郷土資料館として使用（本館）  
石川県立郷土資料館守衛室として使用（門衛所）  
昭和44年 国指定重要文化財に指定（本館）  
昭和61年 郷土資料館が歴史博物館として出羽町に移転開館  
石川近代文学館として使用（本館）  
倉庫として使用（門衛所）  
平成20年 近代文学館が石川四高記念文化交流館としてリニューアル

## (7) 石川四高記念文化交流館ミュージアムショップの現況

エントランス左手の空間（約7㎡）で販売しており、グッズの種類や数に制約があり、売り上げは低調

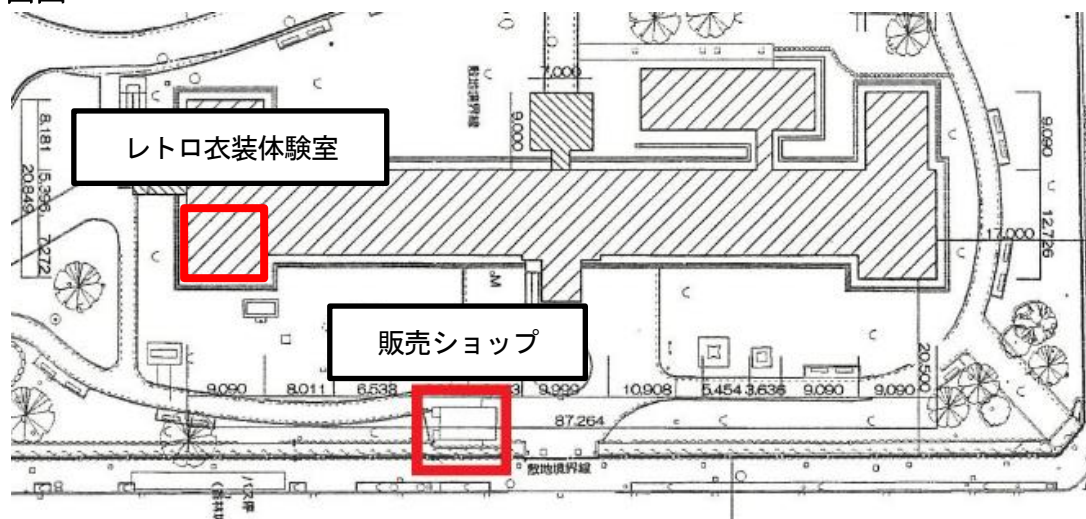
- ・年間売上：約10万円
- ・販売品：図録、本県出身作家書籍、クリアファイル、絵葉書、オリジナルシール、メモ帳、ビニール傘、缶バッジ

## 4 立地条件

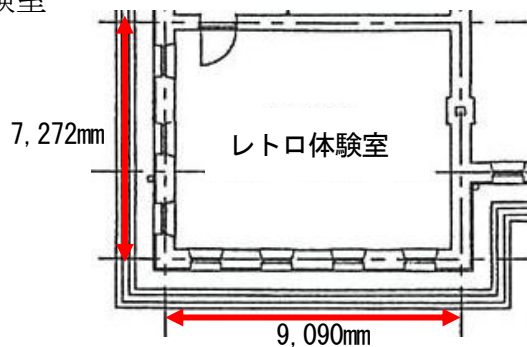


- ・敷地は、兼六園すぐ近くの「兼六園周辺文化の森」に位置する。また、金沢市最大の繁華街である片町や香林坊にも近く、人通りは多い。
- ・近隣には金沢駅に発着するバス停が多くあり、利用者も多い。

## 5 平面図



(1) レトロ衣装体験室



(2) 販売ショップ

別添図面参照

## 6 業務委託の内容

### (1) 契約期間

契約日から令和5年8月31日までとする。

### (2) 業務委託料

9,000千円(税込)

### (3) 業務委託の内容

計画のコンセプトを具体化すること

#### **四高の時代である明治・大正期の雰囲気を感じられるグッズの開発**

商品の開発については、明治・大正レトロ文化発信拠点として、来館者に当時の雰囲気を感じてもらえる商品とし、下記①～③の商品を企画提案書に明記すること。

また、グッズの提案だけでなく、試作品の製作まで行うこと。

- ① 明治・大正期を感じるグッズや、当時の生活文化を感じるグッズを10点以上開発すること(食品も含む)

② 四高に関係のあるミュージアムや教育機関が販売する商品の受託販売を想定すること

③ 民間企業とコラボした商品を1つ以上開発すること

※①～③で合わせて、約30点程度提案すること。

(四高で現在販売しているグッズも含む。一覧は別紙参照。)

※食品を取り扱う営業許可等については、開発した商品に応じて、今後、県が決定する管理運営会社等が届出等を行う

### **来館者が入りやすく、懐かしさを感じられる空間の創出**

店内造作については、明治・大正レトロ文化発信拠点として、「レトロ衣装体験室」及び「販売ショップ」に必要な以下の機能を備えるものとし、下記①～②を企画提案書に明記すること。

(レトロ衣装体験室) ※店員2名想定

- ・フィッティングルーム (約20㎡)
- ・衣装置き場 (約10㎡)
- ・店員休憩場所 (約5㎡)
- ・受付 (約2㎡)

※「レトロ衣装体験室」は重要文化財内部にあるため、建物本体を傷つけないよう整備すること。

(販売ショップ) ※店員1名想定

- ・商品展示棚 (約5㎡)
- ・レジ (約2㎡)
- ・商品バックヤード (約2㎡)

※その他、必要な機能があれば、以下の①～②に加えて、企画提案書に明記すること

① 店内造作工事のコンセプト

② 各フロアのイメージパース及び平面図

※別途本体工事により、屋根や内外装改修、電気・空調・通信設備を実施。

(給排水工事は実施しない。別添図面も参照すること。)

※なお、本体工事の進捗に応じて、提案内容を県と協議し、見直すこと。

## 7 その他

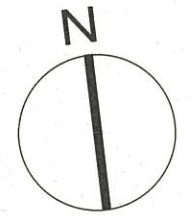
- ・本業務における成果品に関するすべての権利は県に帰属し、県は無償で二次使用できることとし、使用にあたって著作物の加工が必要と判断した場合は受託者の許可なく加工できることとする。
- ・業務の遂行にあたっては、県との連絡を密にし、仕様書に記載のない事項については、県と協議を行った上で、対応すること。

## 石川四高記念文化交流館 グッズ販売一覧表 R4. 4現在

収入先	品名	備考	販売価格	
			一般	友の会会員
県収入	図録（四高）		500円	同額
	図録（近代文学館）		500円	同額
	クリアファイル（黒）		200円	同額
	クリアファイル（オレンジ）		200円	同額
	クリアファイル（青）	H29.3再作成 高桑美術	200円	同額
	絵葉書（四高校舎）		80円	同額
	絵葉書（犀星復元書齋）		80円	同額
	絵葉書（泉鏡花）		80円	同額
	絵葉書（雪の四高）		80円	同額
	中野重治 歌のわかれ	H29.11増刷 亀鳴屋	980円	同額
	広津里香詩集	H27.9第2刷発行 亀鳴屋	1000円	同額
	オリジナルシール	H27.4発行 高桑美術	100円	同額
	四高メモ帳	R1.9新発売 高桑美術	300円	同額
	四高校章入りビニール傘	R1.9新発売 高桑美術	500円	同額
別会計 (近文)	鏡花研究7巻		1500円	1300円
	鏡花研究8巻		1500円	1300円
	鏡花研究9巻		1800円	1600円
	鏡花研究10巻		1800円	1600円
	鏡花研究11巻		1500円	1300円
	鏡花研究12巻		1500円	1300円
	鏡花研究13巻	H25.3発行	1500円	1300円
	鏡花研究14号	R2.4発行 能登印刷	1500円	1300円
	文学と工芸クリアファイル		200円	同額
	缶バッジ		100円	同額

注：別会計は現金のみです

↑  
エントランス



【既存仕上】  
天井：板貼り塗装  
壁：しっくい  
床：土間コンクリート モルタル塗り  
建具：木製建具

【既存仕上】  
天井：化粧石膏ボード  
壁：化粧ベニヤ  
床：土間コンクリート モルタル塗り  
建具：木製建具

【簡易解体調査】  
過去に間仕切壁が存在した痕跡の有無を確認

【簡易解体調査】  
出入口が存在した痕跡の有無を確認

【簡易解体調査】  
間仕切壁の仕様を確認

【既存仕上】  
天井：板貼り塗装  
壁：しっくい  
床：土間コンクリート モルタル塗り  
建具：木製建具

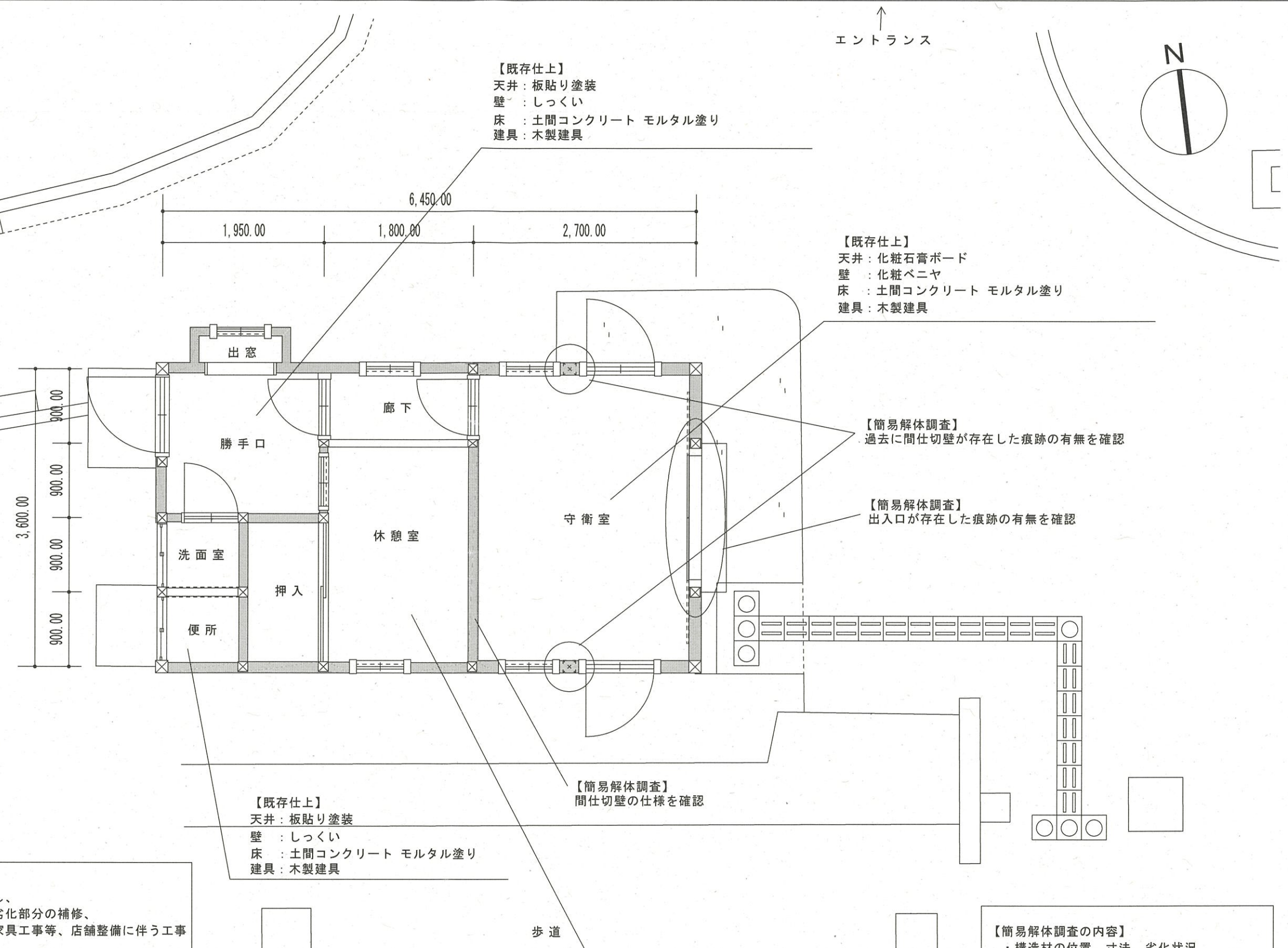
【既存仕上】  
天井：板貼り塗装  
壁：しっくい  
床：畳敷  
建具：木製建具

【簡易解体調査の内容】  
・構造材の位置、寸法、劣化状況  
・間仕切壁の仕様（保存価値の確認）  
・過去に存在した出入口や間仕切壁の痕跡

【改修内容】  
外観・軸組・小屋組を保存しつつ全体化粧直し、  
内部全面改修（可能な範囲で材料再利用）、劣化部分の補修、  
電気設備、空調設備工事、その他、サインや家具工事等、店舗整備に伴う工事

天井：板張り  
壁：しっくい  
床：土間コンクリート、タイル貼り等  
建具：枠等木部塗替え、ガラス、取手等取替、建具調整  
電気設備：幹線、電灯、電話、LAN、インターホン、自動火災報知設備等  
空調設備：エアコン、換気扇等

1階平面図 1/50



工事名	旧第四高等学校校門衛所改修工事	図番
製図	棟 参考図（1階平面概略図）	縮尺 A3=1:50